

令和2年度埼玉県県土づくり優秀委託表彰 (下水道局) 奨励賞受賞

【業務名】中川流域春日部中継ポンプ場浸水対策検討業務
(春日部市増田新田地内)

【発注者】埼玉県中川下水道事務所

【工期】令和元年8月～令和2年1月

【業務概要】

浸水対策としての目標は、埼玉県管理河川の将来計画である確率規模1/100として、春日部中継ポンプ場で浸水深0.5m(TP+5.5m)と設定した。ポンプ施設等が地下に設置されていることから、ひとたび浸水が生じると長期にわたり機能停止となるため、対策効果の早期発現や経済性等を考慮して施設自体の防水化や防水壁設置を検討した。特に開口部に着目して地中配管接続部(電気ビット)からの浸水が発生する可能性が高いことを明らかとし、その対策として開口部及びコンクリート打ち継ぎ目に止水材を塗布する対策を提案した。



「(事例)耐水化防水壁 埼玉県荒川右岸流域下水道、新河岸川水循環センター」

下水道施設の浸水対策



お気軽にお問い合わせください

JST 株式会社ジェーエステック
<http://jstech.co.jp/>

(本 社) 〒338-0011 さいたま市中央区新中里4-14-17
TEL 048-834-6873 FAX 048-834-6874
(技術部) 〒344-0067 埼玉県春日部市中央2-17-18
TEL 048-755-5840 FAX 048-755-5841



株式会社ジェーエステック

◆下水道施設における浸水対策の緊急性

近年、気象変動により線状降雨帯・集中豪雨・ゲリラ降雨等による浸水被害が多発しています。埼玉県内においても、令和元年10月の台風19号では各地で河川堤防の越水・破堤、内水氾濫等による浸水が発生し、公共施設でも甚大な被害が生じました。

特に日常生活に直結する下水道施設（処理場・中継ポンプ場等）が浸水すると、その機能の停止により著しい支障が生じます。このようなことから、下水道施設の機能を保持するために浸水抑制施設や施設自体の耐水化等による早期の浸水対策が求められています。



【～/位置】埼玉県川越市
【撮影位置】埼玉県川越市
出典：国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課

◆下水道施設における浸水対策（耐水化）の考え方

下水道施設の耐水化は、河川氾濫等の災害時においても最低限の機能が保持できることを原則とし、対策が緊急性を持って効率的に進められることが重要です。



◆下水道施設における耐水化の手法

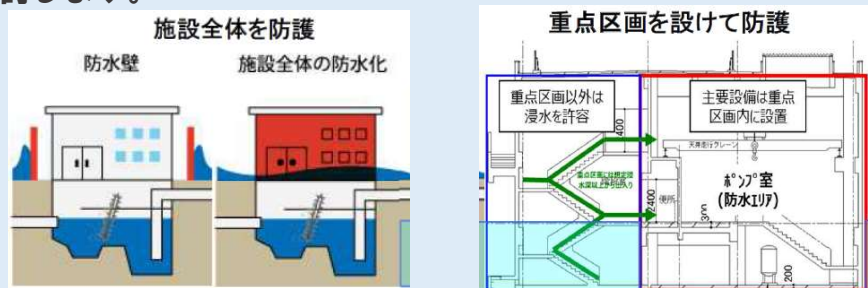
【対象外力の設定】

下水道施設の耐水化（ハード対策）は、中高頻度の確率（1/30～1/100）で発生する浸水を対象として実施します。より大きな浸水に対しては、BCPとして計画されるソフト対策により機能の回復を目指すことになります。



【効率的・効果的な対策検討】

主要設備の配置や施設の構造等を踏まえ、建物全体の耐水化、重点区画を設けた部分的な耐水化、電気設備の上階への移設や防水仕様への更新等を適切に組み合わせて効率的・効果的な対策を検討します。



出典：国土交通省 水管理・国土保全局河川計画課

下水道施設の耐水化検討は・・・

《同種業務における県土づくり優秀委託表彰受賞》
《河川分野での豊富な実績を活かした対策案の検討》
《県内企業としての地域精通度》

・・・(株)ジェーエステックにご依頼ください。